

福祉タクシー券を利用者の 要望に沿って

飯島 正義



問 市が福祉タクシー利用者に対して実施した意向調査に寄せられた要望への対応を伺いたい。①1回の乗車でタクシー券を複数枚使用できるようにしてほしい。②福祉タクシー券を郵送で受け取れるようにしてほしい。

答 ①タクシー初乗り1枚までの使用を2枚まで可能とする埼玉県の見直し案への意見照会が今年6月にあった。市としては、賛同すると回答した。②来年度分から郵送で支給したい。

◆小中学校体育館にエアコン設置を

問 当議員団が請求した小中学校体育館の室温測定結果では、3年連続で「測定しているが、記録していない」との回答。室温測定結果を記録し、エアコン設置の必要性を検討すべきでは。

答 体育館へのエアコン設置の必要性は高まっていると認識している。8月31日に中学校で緊急搬送の事例があったことから、9月13日の校長会で検討し、室温測定記録を残すことになった。何かあった際のデータとして残すべきとの判断であり、エアコン設置のために記録するものではない。

自然災害に対する 吉川市の取り組みは

赤出川 義夫



問 自然災害に対する市の取り組みは。

答 防災倉庫を小中学校等指定避難所19カ所設置、各施設で浸水被害を想定し2階以上の空き教室や空きスペースに保管。

問 災害時井戸協力登録制度の登録件数、災害時飲用水として供給にあたる場合の市の水質検査実施体制・管理方法は。

答 令和元年9月から運用を開始し現在登録は1件。災害時飲用水として使用する場合は市が井戸水の濾過や消毒、水質検査を実施し安全性が確認された場合のみ供給。

問 倒壊の恐れがあるブロック塀の危険箇所と、修繕等の状況は。

答 平成30年の大阪府のブロック塀倒壊事故を受け、市では毎年ブロック塀の調査を実施している。令和3年3月時点で危険箇所は80件。その後6件の改善を確認したが、新たに9件見つかり現在の危険箇所は83件。市では危険箇所の所有者へ直接伺い、災害時の危険性を伝えると共に安全管理の徹底、修繕費用の補助金の紹介もしている。改善まで学校にも協力をいただき児童や生徒へ安全指導をお願いしている状況。

コロナの基本情報の提供 ホームページで適切に公開を

伊藤 正勝



問 第7波に続いて第8波への懸念も出ている。吉川市内の最新の感染数値を伺いたい。

答 市職員はこれまで115人で35人は会計年度職員。学校は2学期の開始から9月20日現在で児童生徒143人。教職員5人。学級閉鎖4件。学校閉鎖3件。保育所は園児403人。保育士等91人。複数感染事例8件。障がい者施設は利用者50人。スタッフ28人で複数事例は5件（いずれも昨年4月～8月末）。

問 市民は身近な吉川の実状を知りたいのではないかと。周辺の4市1町では職員の感染も適宜公表している。公共のPCR検査場の近況は。

答 コロナ情報はそのメリットとデメリットを判断し提供している。第7波は感染者が大幅に増え、当市の日々の数値報告は優先する事項には当たらない。県のホームページにも掲載。職員や学校の状況は、業務の遂行や学校運営に活用すべき情報と認識している。公共のPCR検査場はプライバシーもあり、今も非公開としている。

問 情報への感度が違う。市長の見解は。

答 私の判断を部長が述べている。興味本位な情報は私どもが流す必要はないと考えている。

ワクチン接種希望者に 判断基準となる情報を

吉川 敏幸



問 厚生労働省が毎週発表している『新型コロナウイルス感染症の国内発生動向』によれば、現在までの累計致死率は0.2%となっており、第7波（6月28日～9月13日）の期間で計算すると、100万人の陽性者当たり、10歳未満では9人、10代では1人から2人の致死率となっている。また、自治体によっては、このワクチンは特例承認されたもので治験中である旨をホームページに記載している。当市もできないか。

答 データとしてあっても、国の分析結果を正しく伝える。市で恣意的に情報を提供することで誤解やミスリードを与えることが無いよう、慎重に扱っていく。

◆三輪野江開発の進捗状況と今後のスケジュールを

問 工業団地開発の今後のスケジュールは。

答 地域説明会や地権者に意向調査を行ったところ。今後のスケジュールは、事業主体が未定で、農林調整にも時間を要するので、具体的にはお示しできないが、事業化に向けた調整の進捗状況は随時情報提供に努めていく。